下榎交流センターだより

編集　日野町下榎交流センター
〒689－4526　日野町下榎157番地1
電話：７２－１１９１（FAX兼）
E-mail：rinpokan@town.tottori-hino.lg.jp

【榎の実学習会】　年に一度の坐禅会

９月11日、下榎交流センターの和室で坐禅会を行いました。

榎の実学習会では、毎年この時期に、泉龍寺の三島住職の指導のもと坐禅会をしています。今年度は９年生２人を基本に取り組みをしてきました。現９年生が卒業すると学習会は実質休止となります。今回は１人が欠席となり、教員・職員あわせて７人での開催となりました。

まず三島住職から、坐禅をするにあたっての基本動作などを教わり坐禅を行いました。１回目は15分間、２回目は10分間。その差は５分ですが、２回目がとても短く感じられたとの声もありました。それぞれ感想を述べ、「気持ちよくできた」という声や「邪念がたくさんでてきた」という声も。２回目は「心穏やかにでき身体も軽くなった」という声、「上手くできた」「肩を叩いてもらいすっきりした」といった感想が聞かれました。三島住職から「皆さんとても集中していて姿勢もきれいで導師のようでした」と褒めていただきました。

９年生は小学生のころから坐禅を経験し、年を重ねるごとに常に成長していて全く直すところもなく、後ろ姿は「まるで大導師のようでした」と最上級のお褒めをいただいて、先生をはじめみんなの「おお～すごい！」という声と共に拍手を送りました。大導師とは、三島住職の師匠、最も格の高い僧侶のことだそうです。

最後に参加者全員で、三島住職に「ありがとうございました！」と感謝し、深いお辞儀をして坐禅会を終えました。

三島住職、長きにわたり大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

▲▶心穏やかに最後の坐禅体験。姿勢を褒められました!

【出前公民館】　「みんなで歌おう」

８月27日、老人憩の家で、出前公民館を開催しました。

コーラスグループ 「アザレア」から、歌唱指導に鳥居敏子さん、伴奏に西村由利子さんを迎え、歌好きな９人が集まり全15曲、ゲームを交えて楽しく歌いました。

昭和歌謡・童謡・町民歌を歌いましたが、中でも「肩たたきの歌」では円になり、隣の人の肩を叩き合い笑い声があふれました。

町民歌の「きらりこの町」を歌った時には、皆さん口を揃えて「あ～良い歌だ！」と、改めて町民歌の素晴らしさを実感しました。歌は心のビタミン、心の懸け橋と言われますが、皆さん帰る頃にはニコニコで「楽しかった」「また開催してね」とうれしい言葉をいただきました。

開催にご尽力いただいた公民館の神庭館長、柿本さん、優しい笑顔でご指導いただいた講師の鳥居さん、西村さんありがとうございました。

またの機会を約束し、笑顔の溢れたひと時は、お開きとなりました。

≪　11月の行事予定　≫

◆第47回日野町解放文化祭　　11月９日（土）・10日（日）開催！

展示・講演会・即売会・バザーなど盛りだくさんです。皆さん、ぜひご来場ください！

※詳しくは、11月５日配布のチラシをご覧ください。

農業委員会だより No.108

中山間地域等直接支払制度第６期対策の方針速報！

令和６年９月 20 日時点、第６期対策の方針が示されましたので、お知らせします。あくまで方針速報ですので、今後、変更となることもあります。

中山間地域等直接支払制度第６期対策（令和７年度～令和 11 年度）のポイント

①対象農用地の見直し

●「中山間地域等における農業生産条件の不利を補正することにより、将来に向けた農業生産活動の継続を支援」という本制度の趣旨を踏まえ、目指すべき将来の農地の利用を明確化する地域計画との調和を図る

⇒交付対象農地を農振農用地区域内かつ地域計画区域内の農用地とする

②体制整備単価の見直し

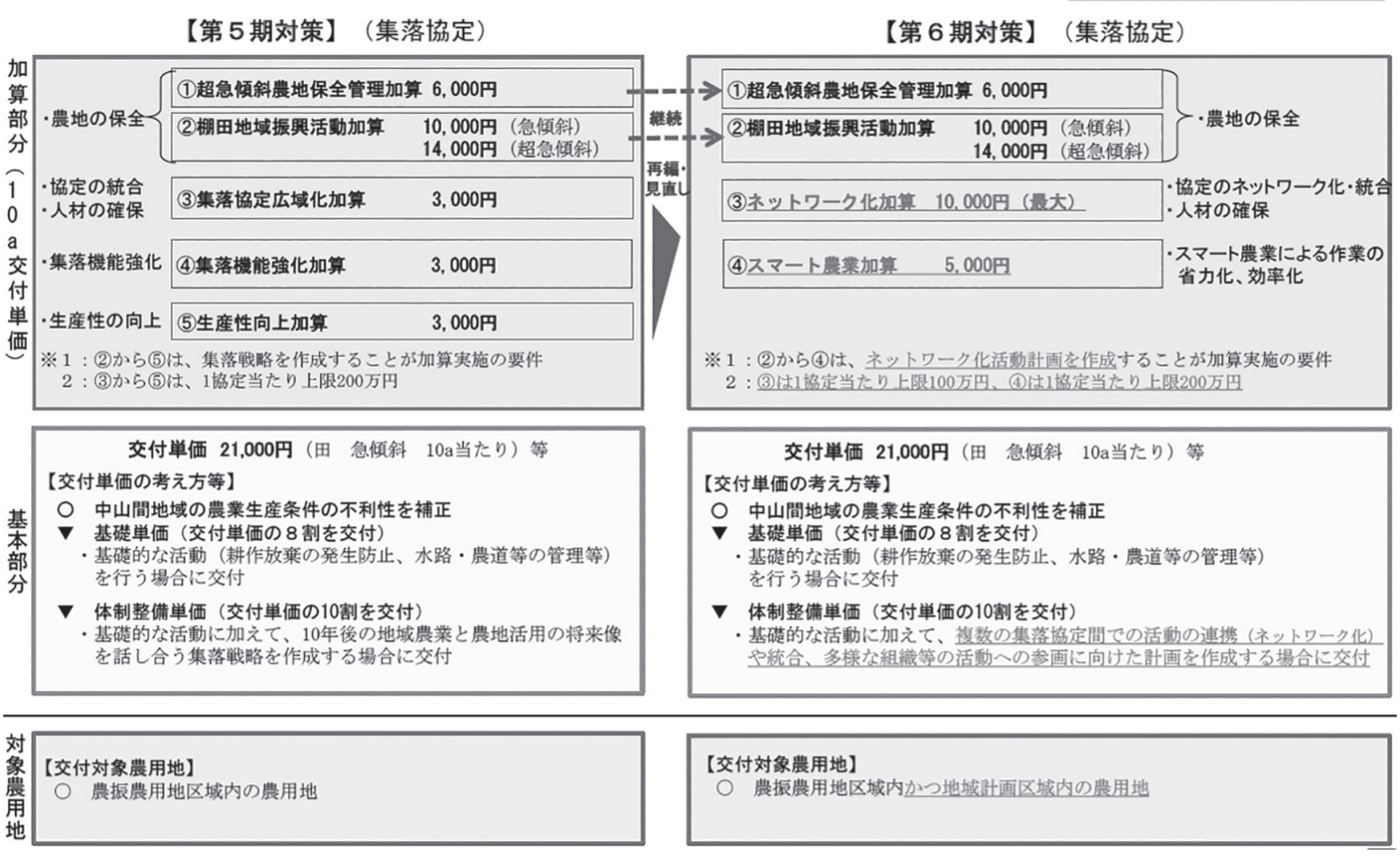
●複数の集落協定間での活動の連携（ネットワーク化）や統合、多様な組織等の活動への参画により将来に向けて農業生産活動が継続的に行われるための体制づくりを推進

⇒体制整備単価（交付単価の 10 割）を交付する要件を、「ネットワーク化活動計画の作成」とする

③加算措置の見直し

●ネットワーク等の活動を安定化、活発化させる主導的役割を担う新たな人材の確保・育成に向けた取り組みと農業生産活動の継続、向上に向けた意欲的な取り組みを支援　**⇒「ネットワーク化加算」を創設**

●リモコン式自走草刈機やドローンなどを用いたスマート農業による作業の省力化、効率化に向けた意欲的な取り組みを支援　**⇒「スマート農業加算」を創設**

第５期対策と第６期対策の比較（全体像）

※赤字が第５期対策からの変更箇所